山田 貴子 議員

(仮称)大日ほたるの里公園の利活用方法は

問 公園内の地層や化石等の資源を、学習指導の一環として勧めるべきだ。

答 重要な自然遺産が身近にある学習環境なので、多くの子供たちが、貴重な資源を次代に伝えていく人材として育ってくれることを期待する。

生活保護者に対する本市の対応は

問 働ける年代における生活保護受給者の増加割合はどうか。また、市として雇用対策をしているのか。

答 リーマンショック以降と現在とでは、約6倍の70世帯と大幅に増加している。雇用対策については、マンツーマンでの指導や、NPO法人ワーカーズコープによる支援も行っている。

化石が展示される（仮称）大日ほたるの里公園

自転車等の安全のため迂回路を利用すべし

問 県道袋井春野線の横手橋から周南中付近の信号機までは、宇刈川左岸堤防に誘導するような道案内看板や防犯灯を設置したらどうか。

答 河川管理者である県などと協議して、転落防止柵等の安全施設の設置も考慮した中で、看板や防犯灯の設置に向け取り組んでいきたい。

佐藤 省二 議員

上山梨第三土地区画整理とまちづくり

問 整備区域約11ヘクタールのうち、優先して事業化する西側7ヘクタールと、残り4ヘクタールを含む未整備地域の、今後の方針はどうか。

答 西側部分については、新しい推進体制のもと、平成24年夏の組合設立を目指す。断念した4ヘクタールについては、住宅密集地を含め、引き続き研究していきたい。

宇刈一色・三沢地域の開発は

問 昭和50年代前半から15年も、瓦れきなど不燃物を受け入れた地域であり、周辺整備が必要と思うが。

答 計画では「健康やすらぎの丘ゾーン」と位置づけている。様々な活性化策を探る中で、土地利用の可能性について検討したい。

イノシシ被害の対策は

問 現在の被害状況と、猟友会との協力を含めた対策はどうか。

答 被害件数、捕獲頭数とも増加している。現在、電気柵や網などの資材購入費の助成を行っており、箱わなも、さらに増設したいと考える。今後も、猟友会袋井支部と連携し、パトロールや捕獲などの効果的な対応に努めたい。

上山梨第三土地区画整理事業の対象区域